

幸せの亥年でありますよう祈りつつ 新年のご挨拶を申し上げます



ごあいさつ 新年を迎えて

社会福祉法人 放泉会 統括施設長 瓜坂 恭子

東方に聳える三瓶山の頂は、ほんのりと雪化粧をしつつも穏やかな好天に恵まれて、平成最後の新年を迎えました。今年の干支は亥。干支の発祥は紀元前の中国であるそうですが、本家中国では今年の干支は“豚年”だそうです。

元日の朝、恒例となっている各施設へ理事長共々、大きな縫いぐるみの猪をお伴に、御利用者の皆様へ新年の御挨拶回りをさせて頂きました。

猪 突 猛 進

『猪がまっすぐ突っ走るように向う見ずに進むこと』（岩波国語辞典第七版）とあるが、実はイノシシはフットワークが軽く、サッと方向転換できる。地面を掘り返す能力も優れている。力が強く鼻先で60～70キロの物を持ち上げる。ジャンプ力もあり、助走無しで1メートル程度の高さも飛び越えてしまう。（島根日日新聞から一部抜粋）

御利用者の皆様への御挨拶では、猪突猛進とは逆に「**ゆっくり、ゆったり**と日々お過ごし下さいますように」と申し上げました。

- | | |
|-----------|------------|
| ・昭和で生まれた | さわらび苑 |
| ・平成で生まれた | ゆうイングさわらび |
| ・新元号に生まれる | サンシルバーさわらび |

最近横浜の高齢者施設を訪問する機会があり、頭に、目に焼きつくフレーズが掲げてありました。（介護憲章10ヶ条）

倫 通 慮 努 遵 協 交 創 責 展（紙面上詳細は省略）

利用者との約束を10ヶ条掲げ、スタッフが基本理念の実現を目指しておられる姿が窺えた、素晴らしい施設でした。私たちも同じ福祉施設として“利用者第一”を常に意識し、より良い介護のあり方を模索していきたいと痛感した新年でした。最後になりましたが昨年中の「社会福祉法人放泉会」の運営につきましては、深い御理解と温かい御支援を賜りまして厚くお礼申し上げます。

本年も変わらぬ御指導を宜しくお願い申し上げます。

人は心 こころはあい

翌日早速サンチャイルドの子どもたちが
見学に来ました。

これ何
だったっけ〜?

たけのこーツ
(間違っでは
いないね... (A▽A;))

たけまつー
(近づいてきたぞ!)

かぎまつー
(おい!!!)

保育士「あれ〜? さっき練習したよね〜?」

A「(小さな声で)

…かどまつ」

Aちゃん正解〜♪♪♪

とっても嬉しそうなAちゃん
でした。

そして、「あおむし」たち(※)は小春日和の中お散歩
へと出かけて行きました。

(※先日の発表会で使った「はらぺこあおむし」の帽子で
今日はお散歩に行こうと皆で決めたそうです。)



奥様は一生懸命
仕上げ作業中

山本庚二様・奥様 門松製作 こぼれ話



ご主人は面会の方
と久しぶりに懐かし
い対面で長話(笑)

はるばる山口町から軽
トラに材料を積み、さ
わらび苑で一仕事を
終え、ゆうイングへ



来年も再来年も
よろしく願っています♪



見事に完成した時には仲
睦まじい姿で笑顔に…。



おかげさまで18年目スタート!! ポン菓子22連発!

平成30年12月1日は、ゆうイングさわらびの開園
記念日。満17歳を迎え、今年は大きな周年行事はし
ませんでしたが、ささやかに心を込めて??…式典を
行いました。

式典には旧理事役員、ご婦人方、現理事役員にも来
ていただき、思い出のアルバム混声グリーン合唱団の美声を聴きながら、四季折々の
映像を懐かしく鑑賞しました。アンコールでは会場の皆さんと一緒に大合唱。

式典終了後のイベントでは、フィリピン出身の職員ダンサーが自慢のダンスで華
やかにオープニングを飾ってくれました。

玄関前では昔懐かしいポン菓子屋さんの大場さんが、大代町から駆け付けて下さ
いました。「最高10回くらいしかできないと思いますよ!」と言われていたのに、
あまりの人気に大ハッスル! ピーッという笛の合図の後『バーン!』と爆音→
『わあ〜!!』と歓声が上がり、懐かしの音と香ばしい匂いにお客さんが誘われて大
繁盛。な、な、なんと22回と記録更新!

そして、リニューアルして〈さわらび〉の焼き印入りにバージョンアップした、
さわらび名物大判焼きは、今回なんとカスタードクリームと、こしあんの2種類!
さわらびから応援に駆け付けた職員、いや職人3名の手にかかれれば中身がなんであ
ろうと、33年培った根性と技で焼き上げ、お客様に大判振る舞い。大好評でした。

他にも地元の野菜・地鶏・衣類など本当にささ
やかでしたが…? 何はともあれ天気にも恵まれ、ポ
ン菓子22連発の祝いの爆音が空高く響き渡るな
か、来年の真新しい景色に思いを巡らせ、ささや
かだけれど盛大な会を終えることが出来ました。

ご近所の皆様、お騒がせ致しました事をこの誌
上をお借りしてお詫び申し上げます。



人形劇

島根ケーブルテレビ協議会設立20周年の記念事
業として、サンチャイルドに人形劇「おいっちに」
の皆さんが来ていただきました。上演されたのは、
保育園やお家で読み聞かせてもらっている、子ども
たちに馴染み深い「3匹のこぶた」。

当日は、お近くのこぼと保育園さん、静間保育園
さんもお誘いし、賑やかに仲良く鑑賞。

人形の巧みな動きや、面白いやり取りにゲラゲラ
と大笑いする3歳以上の子どもたち。反対に可愛
い子ブタも怖いオオカミの様にみえるようで、身動
き一つせずにじっと固まる3歳未満の子どもたち。

人形劇を通して我慢強さや、知恵を絞って兄弟を
助ける兄弟愛など大切なことを読み取ってくれたこ
とでしょう。

最後には、等身大のこぶたちちゃんも登場してみ
なビックリ! でもよく見ると、とても可愛いこぶた
ちゃん♡普段交流できない3園の子どもたちと仲良
く盛り上がり、
それまで泣いて
いた子どもも一
緒に手遊びや歌
をうたって温か
い気持ちになり
ました。



親子ふれあい遊び

12月1日恒例となった保護者会主催の「親子ふれあい遊び」には、0歳児から5歳児まで沢山の親子
が参加し、様々なゲームを通して親子のふれあいを楽しみました。

0・1歳児のゲーム「誘惑に勝てるかな?」では、目の前に置かれた沢山のおもちゃの向こうで待つ保
護者の元へ、無事たどり着けるか…? 必死に子どもを呼ぶお家の方をよそに、おもちゃに向かってまっし
ぐらの子どもたち! 誘惑に負けてしまいゴールできない子どもの前まで思わずかけ寄り、手を差し伸べる
お母さん。まさに「親の心子知らず」ですね…。しかし、おもちゃを手にした子どもたちは安心してお母
さんに抱かれたのでした。普段見ることの出来ない、本当の子どもたちの表情はとても輝いていました。

次の「毛布でリレー」では、毛布に乗せた子どもたちを全力で引っ張る保護者のみなさん。毛布に乗った子どもたちは「気持ちいい〜!」
と笑顔でキャッキヤと大はしゃぎなのでした。他にも楽しいゲームは続き、最後は全員でジャンケン列車をして、みんなが一つのなが〜い列
車でつながりました。勝敗よりも、日々忙しい子育てのなか親子ふれあい遊びの意義を深めることが出来た楽しさと微笑ましさの溢れる2時
間でした。



流行語大賞

12月初旬、師走に入ったにもかかわらず小春日和の午後、長久の空に大きな七色の虹がかかっており、早速サンチャイルドに連絡したのですが、あいにくお昼寝の最中でした。

そんな日、2018年流行語大賞が「そだね～」に決まりましたね。放泉会でも当日投票してみようという話になり、当たった人には理事長賞も出るとあって、利用者&職員はこぞって投票していました。開票結果は…なんと15名もの当選者あり！数名だったら次は“今年の漢字”投票もしようかと考えていた理事長でしたが予想以上の当選者に「今年の漢字はやめようかな？そだね～」と言ったか言わなかったか…想像にお任せします。ちなみに私は落選でした。

他にもこんなのもありました。

「ひょっこりはん」「金足農旋風」「半端ないって」「USA」などなど…

利用者の流行語には、ゆうイングの開苑記念日に登場した「ポン菓子」もありましたよ！



ラヂウム鉱泉に係るセミナー

11月26日月曜日、池田ラヂウム鉱泉についてのセミナーが開催され、長崎大学放射線生物・防護学の松田直樹教授はじめ地元三瓶自然館サヒメル学芸課、矢田猛士博士等等26名の方がお見えになりました。

はじめに理事長の挨拶で、当時池田ラヂウム鉱泉のラドン含有量が世界有数であり、さわらび苑が建設されるまでは、鳥取大学放射能の研究所がこの地に設置されていたが、研究所は、その後鳥取県三朝に移り、跡地にさわらび苑、デイサービスが順次建設され今日に至っているとの説明がありました。

各施設の利用者はラヂウム鉱泉での入浴を行っており、効能として痛みの緩和、四肢の動きが良くなった、体の冷えの緩和等の利用者からの実感を報告したのち、一行は現地にて試飲等研修をされ、改めてラドン含有量の高さに驚かされていました。

地元では、古くから「池田の黄色い不思議な水」として大切にされており、今後更に研究が進み人々の健康増進に寄与することを改めて願いました。



クリスマスプレゼント

12月18日、ゆうイングさわらびの福朗ホールには出雲市出身の演歌歌手、出雲光一さんの歌声が響いていました。ご利用者様の娘さんのご縁でボランティアに来てくだり、今年で3回目になりました。

一足早いプロの歌声のクリスマスプレゼント。持ち歌のほかに春日八郎さんの歌まねを披露されたり、クリスマスソングを歌われたりと盛りだくさんの内容に加え、気さくな人柄で利用者様も終始笑顔！笑顔！！笑顔！！と笑い声が響いていました。



花道

毎年、年末から新年にかけて、玄関先に飾られるのが葉ボタンです。今年も各施設それぞれに冬の装いが整い、新年を迎えることができました。マリーゴールドの寄せ植えから葉ボタンへ、玄関は施設の顔です。情報社会の中で、人は耳が肥え、目が肥え、色んな物を見聞きして何気なく通り過ぎていくようですが、ふと目にする物に施設の在り方を感じ取られる時代だと思います。今年も綺麗な花道からのスタートです。



愛は人

土江子供神楽

1月3日、毎年恒例の土江子供神楽の皆さんが初舞に来てくださいました。

演目は、「恵比寿」そして皆様お待ちかね「八岐大蛇」です。

おめでたい舞の恵比寿でお正月気分も盛り上がり、大蛇八頭が会場狭しと舞い、その迫力に息をのみ、そして須佐之男命が次々と退治していく度に拍手が沸き上がる会場でした。



最後にご利用者様から「来年も絶対来てくださいね」との言葉に「はい！」と元気よく答えてくれた子供神楽の皆さん。来年はもっと大きく成長した姿を見せてくれることでしょう。

ある日の稲積さわらび庵

稲積さわらび庵のお茶室には、お茶のお点前を楽しむ方の姿がありました。200年前の建物に、今を生きる茶人が集い和服姿でちゃんと背筋を伸ばした美しい佇まい、凜とした空気の中にも和やかさのあるお茶会が催されました。

稲積家が培った歴史の中で、それぞれの時代の茶人との会話ができて空間なのかもしれません。

今年も多くの方のご利用をお待ちしています。



さわらび苑 移転改築の進捗状況
 サンシルバーさわらび
 完成予想図（イメージ図）
 ができました。



を感じさせるカラーを取り入れており、お隣のサンチャイルドと調和のとれた外観となっています。

北西からの日本海の風、南東にそびえる三瓶山の風景、建物内部の吹き抜けからは空と太陽（サン）の光を取り込むなど、この地でしか感じることでできない自然をテーマとしています。

一月には早速、杭打ちが始まり、本格的に建設がスタートします。静の風景から一転、動の新しい姿が少しずつ現れ始めることでしょう。

施設利用が「住まい」感覚に感じられることを目指しています。

二〇二〇年早春の開苑を目指し建築準備を進めている新施設「サンシルバーさわらび」の、完成予想図（イメージ図）ができました。

やまなみハイウェイから見えるシルバーゾーン

J R山陰本線は、海岸線を走り四季折々の日本海を眺めながらの列車の旅です。並行して走る国道の利便性を感じていましたが、世の中はもっと便利に快適にと、プラスの部分だけではなく、マイナスの部分を補うために山陰高速道路が必要とされ、人が集まる町・勢いのある町・明るい町創りと様々な目的のために、高速道路が整備中です。ゆうイング北側から見える山は、山肌が削られどんな姿になるのでしょうか…只の通過点にならないようシルバーゾーンが基点となり訪れた人が、生き生きとした職員と利用者さんとの共存で、老若男女の輝ける優しい町となるよう地域のみなさんと一緒に創り上げていきたいと思っています。

フレッシュマン紹介

芝尾 幾世

昨年4月、主人と二人で、35年間暮らした東京から故郷の川合町に帰って来ました。この度12月1日付けで入職することとなりました。

放泉会の魅力の第一は、職員の皆さんの「接遇」の素晴らしさです。その思いは、入職後も変わらず、立派な職場教育がなされていることに驚いています。職員の皆さんの笑顔、利用者の方々への言葉がけや態度には、心温まる優しさと職に対する誇りを感じています。

今後は、家族支援も含め、利用者の皆さんが住み慣れた地域で、主体的な生活が送れるよう縁の下となり、職員の皆さんと一緒に職務を遂行してまいります。

来年4月には新卒の理学療法士1名と保育士2名のフレッシュマンも仲間入り！
 共に、高齢者・児童福祉を盛り上げていけることを今から楽しみにしています。

デイサービスセンターさんべ

三瓶町池田のさわらび苑、新築移転に伴いデイサービスセンターさんべの新築計画も進んでいます。場所はグループホームの建つグラウンドを予定しています。

30有余年間の長きに渡り、地元の皆様に支えられ今日があることに感謝し、さわらび苑が移転した後もグループホームとデイサービスセンターが池田の地に残ることで、皆様に貢献したいとの思いを込め計画を進めているところです。

山あいには建つ新しいデイサービスセンターは池田トンネルから、そして一丁田バス停側から来られてもひと際目を引く建物を目下思案中！？皆様、楽しみにお待ちしております。

新元号は!?

新元号が4月1日に公表されるそうです。今まで簡略表記されてきたことから、今までにない別のアルファベット頭文字になると想定されています。しかし古代から現代まで【T H S A D K W R Y J E N G】などあり中でも“T”は、大化・天安・天禄・長寛・天文・天保・大正…とまだまだあります。また、『年号の歴史』（1996年雄山館発行）によると、元号の選定条件は6つだそう。

1. 国民の理想としてふさわしいような、よい意味を持つものであること。
2. 漢字2文字であること。
3. 書きやすいこと。
4. 読みやすいこと。
5. これまでに元号または送り仮名として用いられたものでないこと。
6. 俗用されているものでないこと。

あなたならどんな元号を考えますか？

ちょこっとコラム

十数年前に退職した職員から「心が動けば体が動く」を胸に秘めて暮らしたら幸せな愛知県民になれました」とメールが届きました。この言葉は、朝礼にて行う一日一話のお題の一文で毎日お題に沿って感想を担当職員が述べるというものです。懐かしい彼女の姿を思い出しながら、放泉会で学んだことが今の生活にも活かされている話を聞き、嬉しさと変わらない想いがこみ上げてくるひとときでした。



夜明けはいい…でも眠いですよ～

編集委員の
つづやき

東の長久小学校のグラウンドあたりから静かに陽が昇り一面を照らし始め、ゆうイングに朝が訪れる。夕方に成れば福朗ホールに陽が差し込みながら西の山並みの向こうの海に陽が沈む、そんな自然の摂理を繰り返している毎日の中で、施設は365日・24時間動いている。終わりが無い。でも今年は始めの年だ！「国の内外、天地とも平和が達成される」そんな願いが込められ名付けられた『平成』が終わり、新しい夜明けの始まりです。良い年でありますように、私達職員は年号が変わっても常に平静を保ちながら夜明けを待ちます。

(担当：山下照子・竹下豊子・小川 景・佐竹美香)